



ワークフローの概要

この章は、次の内容で構成されています。

- 「ワークフローについて」 (P.2-1)
- 「ワークフローデザイナー」 (P.2-2)
- 「定義済みのタスク」 (P.2-3)

ワークフローについて

Cisco UCS Director Orchestrator では、簡単なアクションや複雑なアクションをインフラストラクチャ（物理的または仮想的）で自動化できるようにワークフローを体系化できます。管理者は Orchestrator を使用して個別のワークフローにタスクを組み込み、VM の追加などの特定の IT サービスを実行できます。ワークフロー UI デザイナを使用して、ワークフローに複数のタスクを追加し、実行することができます。トリガーは、ワークフロー内のアクションを開始するのに役立ちます。ワークフローディレクトリを実行したり、トリガーによりプロセスを開始したりできます。一般的なワークフローは、次の要素で構成されます。

- ワークフロー デザイナ (GUI インターフェイス)
- 定義済みのタスク

最も単純なワークフローは、2 つの接続タスクから構成されます。タスクとは、特定のアクションまたは操作です。ワークフローは、Orchestrator でタスクが実行される順序を決定します。ワークフローを作成する際、ドラッグアンドドロップでタスクを移動することで、ワークフローの出力を別のワークフローの入力にすることができます。複数のタスクをこのように接続する操作が、複雑なワークフローを作成する手順になります。

ワークフローデザイナー

ワークフロー デザイナを使用してアクションを実装したり、リストからタスクを選択したら、ドラッグアンドドロップで [ワークフローデザイナー] ペインにタスクを移動します。

ワークフローのライフ サイクルでの編集アクション

一般的なワークフロー編集アクションを次に示します。

名前	説明
[ワークフローの追加]	新しいワークフローを追加します。
[ワークフローのインポート]	ワークフローを他のソースにインポートします。
[ワークフローのエクスポート]	Cisco UCS Director からワークフローをエクスポートします。
[ワークフローの複製]	選択したワークフローを複製します。
[ワークフローの編集]	選択したワークフローを編集します。
[ワークフローの削除]	選択したワークフローを削除します。
[ワークフローデザイナー]	選択したワークフローのために、ワークフローデザイナーを開きます。
[テンプレートとしてエクスポート]	選択したワークフローをテンプレートとしてエクスポートします。
[今すぐ実行]	選択したワークフローを実行します。
[スケジュール]	ワークフローをスケジュールします。
[ワークフローのロックまたはロック解除]	ワークフローをロックして変更を防止します。ロックすると、ワークフローを削除またはロック解除できなくなります。
[ワークフローデザイナー] ウィンドウ (全画面表示)	一番上には全画面表示ボタンがあり、これをクリックすると、ワークフロー全体が 1 つのウィンドウで表示されます。ワークフローの特定の部分を拡大するには、カーソルをワークフローのその部分に移動します。

ワークフロー デザイナの表示オプションは次のとおりです。

名前	説明
[ワークフロープロパティの編集]	[ワークフローデザイナー] ペイン内から、既存のワークフロー プロパティを変更します。
[コンパクトビューモード]	表示をスクロールしなくても多くのタスクを表示できるように、コンパクト ビューでワークフロー タスク リストを表示します。
[自動レイアウト]	ワークフローデザイナー 内のタスク アイコンをリニア デザイン形式に設定します。
[ワークフローの検証]	タスク、入力のマッピング、これらの接続が有効であるかどうかを確認します。
[今すぐ実行]	既存のワークフローを実行します。

定義済みのタスク

定義済みタスクは、入力と出力がある特定のアクションまたは操作です。Orchestrator は、仮想および物理インフラストラクチャの両方で、コンピューティング、ストレージ、ネットワーク機能のために、これらの複数の定義済みタスクを使用します。定義済みタスクは、まとめてグループ化することができます。また、別の定義済みタスクへの入力として使用できます。

名前	説明
SSH コマンド タスク	Secure Shell (SSH) セッションでコマンドを実行します。
インベントリ収集タスク	使用可能なデバイスに関して、インベントリ収集タスクを実行します。
Cloupia スクリプト実行タスク	ワークフロー内でスクリプトを実行します。
URL 通知タスク	指定された URL を通知します。

タスクのドキュメントへのアクセス

- ステップ 1** メニュー バーで、[ポリシー] > [オーケストレーション] の順に選択します。
- ステップ 2** [タスクライブラリ] アイコンをクリックします。
- ステップ 3** [送信] をクリックします。

オーケストレーションのタスク ライブラリが表示されます。エントリをクリックすると、使用可能な特定の入力と出力について詳細情報が表示されます。

